

## 【学生用】星槎大学共生科学部スクーリング開講に関するガイドライン

令和2年4月10日  
星槎大学 共生科学部  
学部長 鬼頭 秀一

2020年度のスクーリングについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を勘案し、当面の間、以下に示すガイドラインに則り対応してまいります。

学生の皆様におかれましては、従来の講義方式からの変更となるため、何かとご不便をお掛けするところもありますが、皆様の学修機会の確保に努めてまいりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

### 1、基本方針

新型コロナウイルス感染症の拡大を抑制する観点から、「3つの密」を避けることを踏まえ、本学のスクーリング科目については、原則として以下のとおり運用する。

- ① 対面授業を避け、オンライン(Zoom等)を活用してスクーリングを行う。
- ② 学生は自宅から受講する。
- ③ 科目担当教員は、極力、自宅等から発信する。

※「3つの密」＝「密閉」「密集」「密接」

▶特例措置：Zoomの受講環境を整えることができない学生については、最寄りの各学習センターにて定員を設けて開講する場合がある。

### 2、オンライン授業の運営方法

- ① 科目ごとにZoomのURLや資料を案内する。  
(学生ポータルサイトの特設ページでお知らせします)
- ② 「授業改善アンケート」は、WEBフォームで回答する方式に切り替える。  
(詳細は別途通知する)

### 3、学生が自宅受講するための準備等について

- ① Zoomによる授業に向けて、通信環境、パソコン等のハード面(一定以上のスペックが必要)を準備する。
- ② スクーリングの受講方法、シラバス・学修指導書の内容の一部に変更が生じた場合は、その内容を事前に周知する。

### 4、オンライン授業が難しい科目への対応について

授業科目の特性により、オンライン授業が難しいと判断される場合は、真に対面授業が必要と認められ、かつ、以下の事項が守られる場合に限り、対面授業を実施することとする。

- ① 適切な感染予防対策を実施していること。<sup>※1</sup>
- ② 密閉空間・密集場所・密接場面などクラスター感染発生リスクが高い状況を回避していること。<sup>※2</sup>
- ③ 感染が発生した場合、参加者への確実な連絡を行い、そのことに関する行政機関による調査へ

の協力をする事。

- ④ 対面授業会場がある場所と同一地方<sup>※3</sup>に移動制限が出ていないこと。
- ⑤ 開講の可否や教員及び学生の移動に関しては、新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」（2020年4月1日）に即して対応する<sup>※4</sup>。

(注)

<p>※1の「感染予防対策」とは以下の点を全て満たしていること。</p> <p>(1) 受講生はスクリーニング当日朝検温をし、37.5度以上ある場合は受講を控えること。 自己申告書(書式は特設ページにアップロード予定)、受付時に自筆署名のうえ提出。</p> <p>(2) 到着後手洗い、手指のアルコール消毒(除菌シート等)をすること。</p> <p>(3) 原則マスクをつけて受講すること。</p>
<p>※2の「回避していること」とは以下の点を全て満たしていること。</p> <p>(1) 換気を行う(1時間に1回は2つの方向の窓を同時に開ける)こと。</p> <p>(2) 人の密度を下げる(互いの距離を1~2メートル程度あける)こと。</p> <p>(3) 近距離(互いに手を伸ばしたら届く距離)での会話や発声などを避けること。</p>
<p>※3の地域は以下の区分とする</p> <p>北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄</p>

※4 星槎大学の危機管理レベルと感染地域要件について			
危機管理レベル	名称	地域要件	留意事項
3	都市閉鎖的地域	政府から特別措置法に基づく緊急事態宣言発出後、都道府県知事により、都市閉鎖的な政策が打ち出された場合。	
2	感染拡大警戒地域	直近1週間の新規感染者数やリンクなしの感染者数が、その1週間前と比較して大幅な増加が確認されているものの、オーバーシュートと呼べるほどの状況には至っていないこと。	「3つの密」を避けるため、以下の取組をより強く徹底する。 ・期間を明確にした外出自粛要請、10名以上が集まる集会・イベントへの参加を避けること。 ・域内の学校の一斉臨時休業も選択肢として検討されていること。
1	感染確認地域	直近1週間の新規感染者数やリンクなしの感染者数が、その1週間前と比較して一定程度の増加幅に収まっていること。	「3つの密」を徹底的に回避する対策をしたうえで、感染拡大のリスクの低い活動については、実施する。ただし、屋内で50名以上が集まる集会・イベントへの参加は控えること。
0	感染未確認地域	直近の1週間において、感染者が確認されていない地域。	屋外でのスポーツやスポーツ観戦、文化・芸術施設の利用、参加者が特定された地域イベントなどについては、適切な感染症対策を講じた上で、それらのリスクの判断を行い、感染拡大のリスクの低

			い活動については注意をしながら実施する。
--	--	--	----------------------

- ◆体育実技科目については、上記に準ずるほか、借用施設の判断も加味して決定する。
- ◆これらを十分準備して開講する場合であっても、直前の地域の流行状況によっては中止する。

## 5、開講判断と閉講に関する特別措置について

- ① 開講の可否（開催方法等）は実施日の1か月前に告知し、2週間前に確定する。
- ② 体育実技科目に関しては、出席後の学費請求とする。
- ③ その他、閉講により受講不可となった場合（自己都合を除く）は、当該科目の開講時期を改めて連絡する。

## 6、その他留意事項について

新型コロナウイルスの感染状況を勘案し、スクーリングの受講に際しては、以下の点に留意願います。

- ① 常に最新情報の把握に心がけてください。
- ② スクーリング開講に関する本学の判断は、感染状況に応じて適宜修正する可能性がある。その場合には、学生ポータルサイトにて最新情報をお知らせします。
- ③ 日頃より行動範囲・行動経路については、記録をとっておいてください。

以上